

田中電気の情報発信NEWSレター

田中電気のお仕事紹介

神津島村立神津小学校放送設備施工工事

～放送設備の設計から機材の選定、設置工事～



音声調整卓の入替え前(写真左)と入替え後(下右)。こちらの親時計から自動的にチャイムユニットへ制御信号を送りチャイムを鳴らしています。

田中電気の社員紹介
『今月のこの人!』
磯貝 義昭 課長
セキュリティ事業部 技術部

今回の神津小学校の放送設備設計者。趣味はゴルフと旅行で、この夏休みは上海（ホテルはオークラ!）へ行ってきたとのこと。桜の季節は毎年隅田川園遊会へお着物で出かける粋な一面も。神津島は海がとても綺麗な島です。9日間の放送設備の工事を終え、今はバスターミナルの放送機器の設計に取り掛かっています。



神津島は、竹芝栈橋からジェット船で南へ3時間半、伊豆諸島の1つで人口は約1,900人（約800世帯）の一島1村の東京都の村です。正式には「東京都神津島村（こうづしまむら）」というそうです。村役場から依頼をいただき、神津小学校の放送設備の撤去入替え工事を行いました。神津島には、保育園・小学校・中学校・都立高校が1校ずつあり、神津小学校は明治14年に開校し、平成21年4月で128周年を迎えました。神津島村の高処山を見上げる坂の上であり、児童数122名・教職員の先生21名の学校です。

授業の始まりや終わり、楽しい給食の時間を知らせるチャイムをはじめ、命を守る大切な緊急時の放送を、教室、職員室、図工室、保健室、廊下、校庭等、学校中にきちんと届くよう設計施工を行いました。

神津小学校をはじめ、平成17年に中学校の放送設備も入替えました。子供たちの暮らしに欠かせない放送設備の保守点検、施工を行い、安心・安全のお手伝いをしています。

上記に関するお問合せは、0120-150-712 または info@tanaka-denki.co.jp

秋葉原ファクトリーは田中電気のお客様のための窓口です

田中電気セレクト商品情報

★お問合せはマーケティング部担当渡辺まで
→0120-150-712

マルハマ 連続撮影型ドライブレコーダー DR-850RV 田中電気価格 ¥14,800(税込)

万一の車両事故に備え、車にドライブレコーダーを搭載する方が日に日に増加しています。ドライブレコーダーは事故原因の解明や、運転手の安全意識の向上などの様々な効果が期待されています。

今回ご紹介する新製品マルハマ DR-850RVはSDメモリーカードに映像と音声を連続記録することが可能です。記録時間は付属のSDメモリーカード(2GB)で最大約1.7日間(画質サイズQVGA、1秒間に2フレームレート)。別売りのSDカード32GBで最大26.5日の記録が可能です。詳しくは、フリーダイヤル

0120-150-712(担当渡辺)までお問合せください。

■撮影画素子30万画素

■55(W)×28(D)×66.5(H)mm(取付ステー含まず)



●お知らせ

「危機管理産業展2009」に出展します

招待状をご希望の方は下記までご連絡ください!

昨年につき5回目の出展をします。危機管理に関連する製品・サービス等「危機管理総合トレードショー」です。昨年は300を超える企業・団体が出展し約6万人の来場者を数えました。当社のブースにも毎年たくさんのご来場をいただき誠にありがとうございます。今年も、災害時における通信手段として、非常に有効性の高い業務用無線システム(mcAccess-e / 簡易無線機)の展示を行ないます。皆様のご来場をお待ちしております!

10月21日(水)~23日(金) 東京国際展示場

(東京ビッグサイト)入場料2,000円(税込)

※招待券持参者・事前登録者は無料

→事前登録

<http://www.kikikanri.biz/registration.html>



「第20回新聞製作技術展 JANPS 2009」に 初出展します 入場無料!

今回初出展です。日本新聞協会主催、日本新聞製作技術懇話会協賛。産経新聞社、非加盟社9社を含め45社が出展。テーマ「新たな発想で未来を創出——これからの新聞技術」最新の新聞製作関連機器の展示、実演。

11月24日(火)~27日(金)

東京国際展示場
(東京ビッグサイト)



江戸の歴史 『将門ゆかりの鎧(よろい)神社』と『将門首塚』 シリーズ No. 33



将門ゆかりの鎧神社

た平将門の首が飛んできてここに落ち、里人が首塚を築いたという。江戸時代に酒井雅楽頭屋敷内に置かれ、明治になって大蔵省の敷地となり庁舎が建てられた。その際に事故や病人が続出したため首塚を復興し、ここに祀った。

■鎧神社は中央線大久保駅下車7分。将門首塚は東京メトロ大手町下車5分。

江戸の歴史を書いていて初めてリクエストがあり首塚を紹介します。「将門ゆかりの鎧神社」

旧柏木村の鎮守である鎧神社にはさまざまな伝説が残る。10世紀に天慶の乱が起こったとき、将門の弟、平将頼がここで陣を張り、鎧を脱いで休息した。そこを敵の藤原千春に襲われ傷ついた。必死で川越まで逃げたが、ついに絶命した。以来この地には疫病が流行り、人々は将頼のたたりだと恐れた。そこで大将の将門をまつる神社を造り、将頼の霊を供養したという。

「将門首塚」

天慶3年(940年)関東で反乱を起こし京都に運ばれ



将門首塚

編集後記 シルバーウィークも終わり秋まっさかりですね。神津島はほんとに海が綺麗で、海が見える温泉もあるそうです。最近、都内でも手軽に自然に触れられる公園がひそかなブームとのこと。都内で一番大きい立川の昭和記念公園ではちょっとした森を味わえるそうです。オススメは白金の自然教育園、金町の水元公園(その名のごとく水辺を楽しめる)とのこと。個人的には代々木公園がいろんな国や街のイベントも楽しめてオススメです。